



関東運輸局

令和7年3月17日

現役航海士から小学生へ海の仕事の魅力をPR！

関東運輸局では、令和7年2月25日（火）に東京都世田谷区立砧南小学校の児童に対して現場見学会を実施し、現役の航海士等から海の仕事の魅力を発信しました。

関東運輸局では、（一社）日本船主協会及び（株）商船三井の協力のもと、東京都世田谷区砧南小学校5年生の児童189名に対して現場見学会を実施しました。

当日は、川崎マリエン内会議室において関東運輸局から造船、船員及び港湾運送等の仕事について、また、現役の航海士からは、船員の仕事、船上でのボリュームある食事や休息時間の過ごし方などを説明しました。児童は、聞いたことのない船員の働き方や港で働く人たちの仕事について、熱心に話を聞きメモを取っていました。

その後はバスで東扇島の自動車船ターミナルに移動し、ターミナル構内で荷役作業をしている自動車船を見学しました。200mを超える自動車船の大きさに驚きの声が出る中、チームごとに隊列を組んで自動車を運転し、スムーズに船内に積み込んでいる様子を見てもらい、海で働く人の仕事の魅力を知ってもらう良い機会となりました。

見学中のバス内では、時間が足らなくほどの質問があり、“船員のやりがいを感じる時はどんな時ですか”、“一番入港が難しい港はどこですか”、“船に国旗が立っているのはなぜですか”等様々な質問が出ていました。

見学会終了時には、海で働く人たちのことを知ってもらうため、今日勉強したことを小学校の友達や家族と会話して振り返ってみてくださいと説明しました。

関東運輸局では、今後も海事関係業務の認知度を高めるため、出前講座や現場見学会等の機会を捉えて、海事思想の普及、海洋教育の振興に努めてまいります。



川崎マリエンでの講義



バスから見学及び質疑応答



自動車船と荷役の様子



【問い合わせ先】

国土交通省関東運輸局海事振興部船員労政課 担当：長谷川・仕黒

電話：045-211-7231